

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.5.0.4

バージョンアップ内容

○ システム全体の日本語化

環境設定ダイアログから、システム全体の日本語化が可能になりました。

従来はメッセージのみの対応でしたが、今回からはメニュー名やラベル名も切り替わります。(図1)

○ セグメンテーション機能の強化

任意形状(矩形、曲線など)による切り抜きの際に、マスク領域の指定が可能になりました。

表示範囲のみをセグメンテーションの対象とすることで、不要領域の表示と除去が容易になります。(図2)

○ その他改良・バグフィックス

- ・ 単位系の表示切り替えを、3面図と画像情報ダイアログにも反映するようにしました
- ・ 大容量のCT画像に対し、ボリュームレンダリングを行った際の不具合を修正しました
- ・ ウィンドウレベルの細かい不具合を修正しました

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもお気軽にご相談ください!

- ・ 画像処理フィルタの作成
- ・ 処理の自動化
- ・ パラメータ設定
- ・ プログラム開発
- ・ 3Dプリンタ用造形モデル作成
- ・ CG/画像処理/WEB etc.

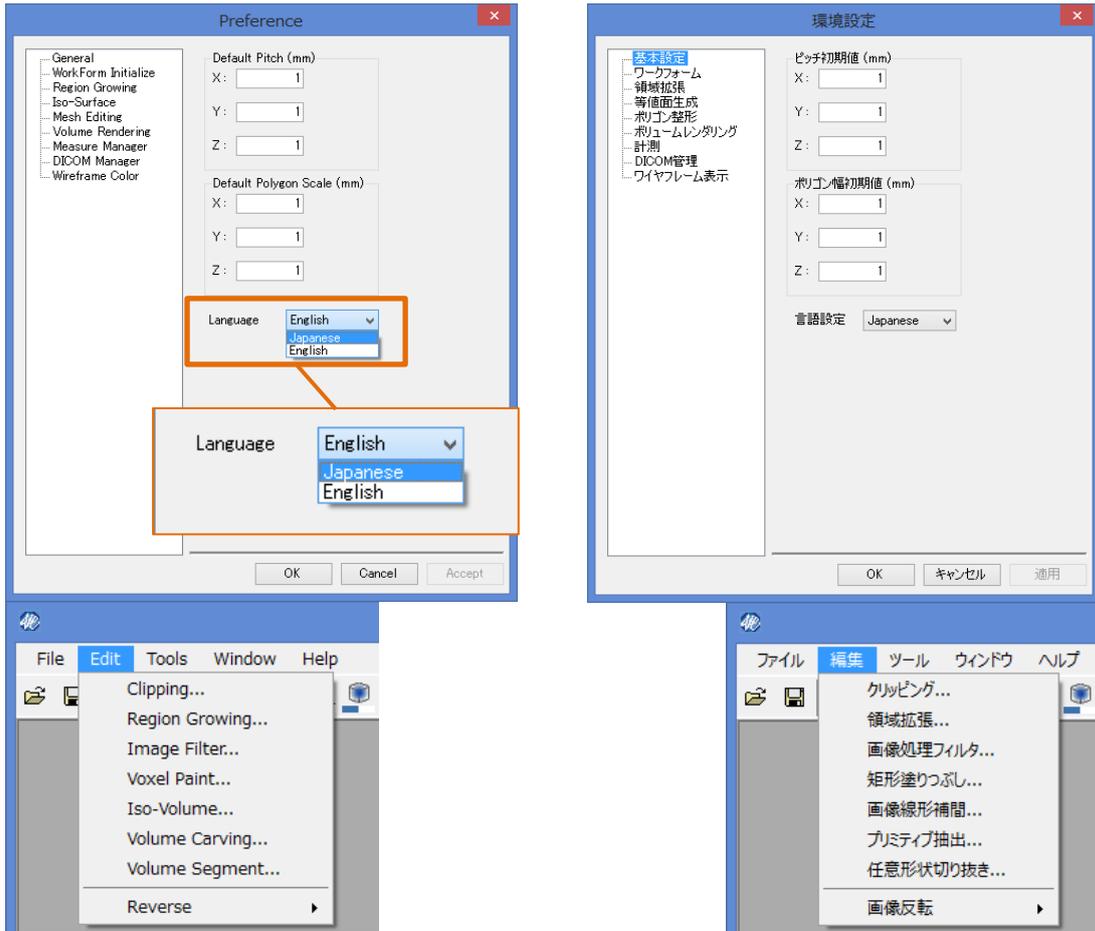


図1 システム全体の日本語化（左：英語、右：日本語）

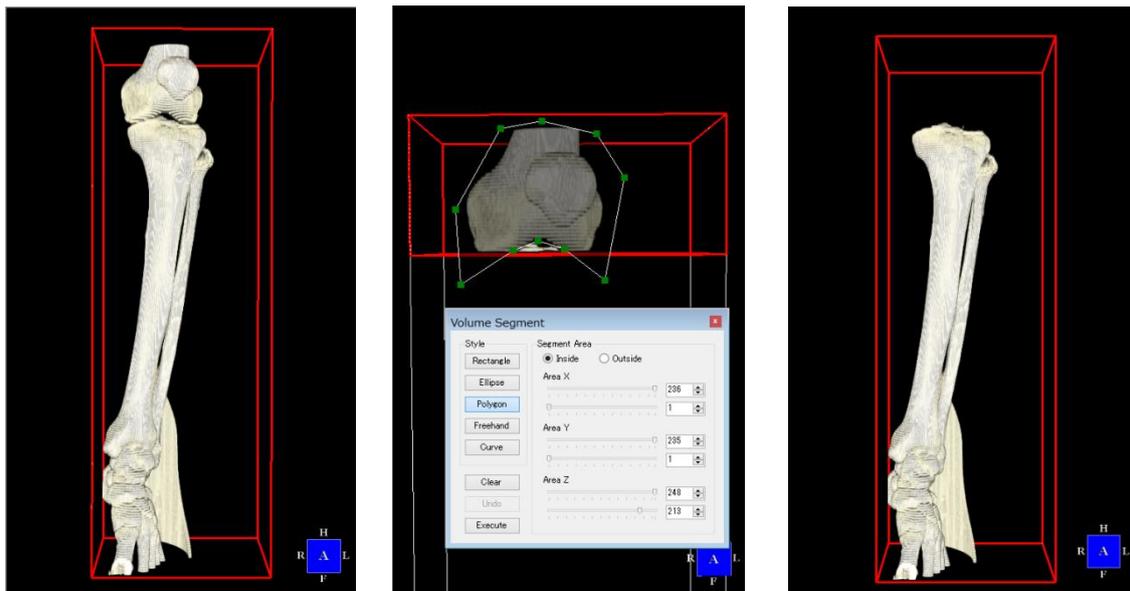


図2 マスク領域に対するセグメンテーション